

# 令和2年度予算を可決

3月議会では、一般会計（213億2,000万円）、国民健康保険・介護保険などの特別会計、上下水道・病院の企業会計を含む、総額462億5,851万円の令和2年度予算案が提案されました。

一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は建設経済厚生常任委員会において、5日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり可決しています。

## 予算決算常任委員会 (総務分科会・建設経済厚生分科会)

一般会計の令和2年度予算案と令和元年度補正予算案は予算決算常任委員会に付託した後、全体会で、総務、建設経済厚生の各分科会へ所管する事項を分担し審議を行いました。主な審議内容は以下のとおりです。（補正予算案の審議は6ページに掲載）

## 一般会計

### 観光

**問** ホテル連携事業について。

**答** 市内の宿泊施設と連携し、宿泊者の滞在時間をふやす取り組みです。旅行会社に500万円を限度額としてプランを提案してもらい、プロポーザル方式で選定します。また、市のイベントに参加して宿泊し、市内を周遊した方への補助も考えています。

### 交通安全対策

**問** 高齢者運転事故防止対策補助事業について。



**答** 高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いの事故を抑制するための安全装置の購入、または設置に係る費用の一部を補助するもので、補助額は1件当たり1万1,000円です。県の補助金2万2,000円とあわせて3万3,000円になります。

### 入札制度

**問** 電子入札システム導入の目的と費用について。

**答** 兵庫県が運営し、県内24団体が加盟、共同運営している、電子入札共同システムへの加盟を検討しています。応札者の労力の軽減、入札事務の正確性、効率化などのメリットがあります。システム導入等初期費用は330万円で、運営費用が約140万円です。

### 健康

**問** 運動ポイント事業について、定員を設定する必要がなくなった理由は。



**答** 平成30年度までは、1,500人分の活動量計を市で調達して事業を実施していましたが、令和元年度にスマートフォンのアプリを用い、参加者を広く募集できる形が整ったことから、今後は利用者制限をすることなく募集していきます。

### 介護

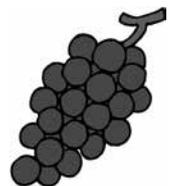


**問** 介護人材確保事業について、令和2年度は増額となっているが、どのような事業内容か。

**答** 令和元年度は一つの大学でインターンシップを実施しましたが、令和2年度は近隣の福祉系学部を持つ大学など少し範囲を広げたいと考えています。また、インターンシップの期間も長期にし、あったか介護相談員事業への参加など、より利用者と身近なところで介護という仕事を学んでもらうことで、将来の介護人材の確保に努めたいとの思いで、事業の拡大を考えています。

### 特産品開発

**問** 地元ブランド品開発事業委託料について、現在の状況と今後の見込みは。



**答** 令和元年度は、加西ブランド協議会のホームページ作成や、特産品のトマトを使用したピューレ、ブドウのようかん、米粉の乾パン、黒豆のお茶などをつくりました。令和2年度は、手軽に飲めるペットボトルのブドウジュースなどを考えています。このほか、市内の写真家から提供いただいた紫電改のレプリカの写真を、商品のラベル等に活用できないか考えています。さらに、地方創生交付金事業の目的の一つである、仕事づくりを支援できるよう、生産者だけでなく、商工業者の所得増にもつながる支援を行っていきたいと考えます。